

## 五色沼湖沼群

五色沼（「カラフルな沼」という意味）は、青緑色、緑色、銅色などの色彩で知られる約 30 の沼の集まりです。1888 年の磐梯山の噴火によって、約 300 の浅い沼が作られました。噴火により、磐梯山の北斜面で大量の岩屑が流れ落ちました。そして岩屑がいくつかの谷をせき止めた際にできたくぼみに、これらの沼が形成されました。

鮮やかで色とりどりの色彩は、化学物質や、水や砂に含まれるケイ酸アルミニウムなどの鉱物粒子によって引き起こされると考えられています。その色は、周囲の風景の反射や、堆積物や植生の違いにも影響されます。いくつかの沼は、磐梯山の火山活動によって水中の硫酸塩の濃度が高くなっているため、強い酸性となっています。pH が非常に低いため、水生生物が暮らすことのできない沼もあります。

地質学者らは高地の湖から流れた水が、これらの沼によってろ過されていると考えています。銅沼は、磐梯山の北側の斜面にある火口湖で、いくつかの他の沼に流れ込み、ミネラル含有量に影響を与える源泉だと考えられています。

五色沼自然探勝路を 90 分ほど歩くと、これらの池のうち、10 の池の前を通ることができます。